

新情報システム学体系化研究・第6回講演会の開催報告

2015年 7月14日

新情報システム学体系調査研究委員会 伊藤重隆

- ◆日時：2015年 6月17日（水）18時30分～20時30分
- ◆場所：専修大学神田校舎 7号館 8階 783教室
- ◆テーマ：「マイナンバー制度・個人情報保護法の最新潮流と企業システムの今後」
- ◆講師：八木 晃二氏
- ◆参加者：27名
- ◆講演概要：

第6回講演会は、当委員会の委員の八木 晃二氏にマイナンバー制度と個人情報保護法の改定について、その内容と課題について、分かり易く説明いただきました。

企業の情報システムは、ビッグデータ、IoT時代を迎え、様々な情報を広範囲で連携し、いかにその情報を活用して事業活動に役立てていくかが企業競争力強化の重要なポイントになってきている。それには、ヒト、モノ、カネに紐づいたパーソナルデータを有効活用したい企業と、プライバシーを守りたい個人との両立が欠かせない。

本講演では、パーソナルデータ活用に大きな影響を与えることになる個人情報保護法の改正内容をいかにとらえるべきか、今年10月に施行予定のマイナンバー制度（＝特定個人情報、個人情報の一つ）に対して企業や国民はいかに対応すべきか、法制度の内容や課題の解説と共に、企業ビジネス、企業コンプライアンスの視点も加えて詳しく解説していただいた。

講演の後半には参加者の皆様から多くの質問や意見が出され活発な議論がなされた。本報告の場を借りて、改めてお礼を申し上げたい。

◆説明資料

体系化研究第6回講演資料：企業情報システムの考察(抜粋版)

◆問合せ先

<新情報システム学体系調査研究委員会事務局：渋谷照夫>

e-mail: shibu_t4771■kym.biglobe.ne.jp

(■を@に置き換えてご使用ください。)

以上